生振地区防災マップ

凡　例

洪水浸水想定区域
- 10.0 ～ 20.0m 未満
- 5.0 ～ 10.0m 未満
- 3.0 ～ 5.0m 未満
- 0.5 ～ 3.0m 未満
- 0.5m 未満

- 指定緊急避難場所
- 指定緊急避難場所・指定避難所
- 福祉避難所
- 警察
- 病院
- 消防署・消防団
- 公民館・研修センター
- 福祉・児童館
- 幼稚園・保育園
- 文化・教育施設
- 公園
- 一般国道
- 主要道道

備蓄品 備

≪非常食≫
- 雑炊
- クラッカー
- 飲料水
- 粉ミルク
- アレルギー対応粉ミルク

≪生活用品≫
- 毛布
- ラジオライト
- 発電機
- 投光機
- ストーブ
- 救急箱
- 簡易トイレ
- 子供用おむつ
- 大人用おむつ
- 生理用品
- ガスコンロ
- ビニールシート
- ハンドマイク

※避難所により、備蓄状況は異なります。

防災用資機材セット 資

消火器	5本	かませ木	2本	トランジスタメガホン	1台
消火バケツ	10個	ロープ	2本	ラジオライト	1台
のこぎり	1丁	ジャッキ	1台	ヘルメット	10個
おの	1丁	ボルトクリッパー	1丁	防水シート	3枚
ハンマー	1丁	折りたたみ式担架	2台	資機材収納箱	1台
金てこ	1本	救急セット	1式		
剣先スコップ	5本	道具台車	1台		

持ち出し品の確認

個人でなければ用意できないものなど、
絶対に忘れてはいけない持ち出し品を
メモしておきましょう。

☐ ☐
☐ ☐
☐ ☐
☐ ☐
☐ ☐
☐ ☐
☐ ☐
☐ ☐

避難所はどこ？
Where is the evacuation site?
避难所在哪里？
Где убежище?

①両こぶしを右上にさっとあげる。
手話イラスト掲載予定

②右人差指を立てて左右に振る。
手話イラスト掲載予定

③全指を曲げた右手を前に置く。
手話イラスト掲載予定

2 次元コード掲載予定

避難方向
- 赤 → 地震
- 青 → 洪水

石狩放水路
真栄別川
石狩川
茨戸川
生振ふれあい研修センター
石狩消防団第4分団
ゴルフ場
石狩市役所
生振小学校 備（海抜 6.1m）
生振小学校グラウンド（海抜 5.0m）
③ 石狩市総合保健福祉センターりんくる（海抜 5.2m）
川周辺の住民は生振地区外への避難も検討！
交通混雑に注意！
高架なので一時避難可能
冬季の吹きだまりと交通混雑に注意！
337
231
44
N
0 250 500 1,000

※石狩川の洪水の範囲は、平成29年3月7日に国が指定した、石狩川水系 石狩川下流洪水浸水想定区域を加工して作図したものです。

谷折りで「防災の心得」へ

福祉避難所	住　所	電話番号
③ 石狩市総合保健福祉センター りんくる	花川北６条 1-41-1	72-8343

指定緊急避難場所	災害の種類 地震	津波	高潮	洪水	まちの浸水	土砂災害	大火事	指定避難所	住　所	電話番号
生振小学校	△	○	○	○	○	○	×	○	生振 375-1	64-2018
生振小学校グラウンド	○	○	○	○	○	○	○			

※まちの浸水とは、降雨量が小河川や下水道等の流れる能力を超えた場合に、建物や道路が浸水することを指します。※表中の記号は、「○：現象に対応できるもの　×：現象に対応できないもの　△：施設の安全が確認された後に使用する施設であり、耐震条件を満たしたもの　▲：２階以上の避難について現象に対応できるもの」を表しています。

家族の連絡先

家族の名前	生年月日	血液型	会社・学校の電話番号
	明・大 昭・平 年 月 日	A ・ B O ・ AB	
	明・大 昭・平 年 月 日	A ・ B O ・ AB	
	明・大 昭・平 年 月 日	A ・ B O ・ AB	
	明・大 昭・平 年 月 日	A ・ B O ・ AB	
	明・大 昭・平 年 月 日	A ・ B O ・ AB	

緊急連絡先

市　役　所	石狩市総務部総務課危機管理担当 電話番号：72-3190
かかりつけの病院	病院名：　電話番号：
近所の総合病院	病院名：　電話番号：
	（自由記入欄）
	（自由記入欄）

この防災マップは、皆さまの声をまとめたものです。

生振地区の『防災の心得』

※ この「防災の心得」は、皆さまの声をまとめたものです。

平 常 時

① 持ち出し品と備蓄の用意！

個人で、持ち出し品の準備や備蓄をしよう。冬季の寒さ対策も忘れないようにしよう。

② 家族で防災会議！

家族の間で、連絡方法、集合場所の確認をしておこう。

③ 情報収集手段の確認！

メール等による情報取得では、使えない人へ伝えよう。

④ 要配慮者の把握！

普段の生活の中から、町内会や隣近所などが中心となって要配慮者の把握を行おう。

⑤ 防災訓練で備える！

想定にとらわれることなく、日頃から防災訓練を実施して、災害時に備えよう。訓練を通じて協力体制を構築しよう。

災 害 時

① 身の安全を確保！

地震発生直後は、身の安全を確保しよう。

② まずは情報収集！

まずはテレビやラジオなどで災害情報を確認しよう。

③ 乗り合わせて避難！

比較的、時間に余裕のある避難の際は、隣近所や災害時要配慮者の方と乗り合わせて車で避難しよう。

④ 状況に応じた避難を！

生振小学校への避難を基本とするが、災害の状況に応じて、地区外への避難も視野に行動しよう。

⑤ 天候に応じた避難を！

吹雪などの天候に考慮した準備をし、状況に応じた避難をしよう。

⑥ 避難先で助け合う！

避難先の運営や駐車場の誘導などを地域住民で助け合いながら行おう。

⑦ 大雨！避難情報に対応して避難！

大雨の時は市からの避難情報に対応して避難しよう。避難が間に合わないときは屋内の２階へ避難するなどして身の安全を確保しよう。

＜生振地区＞ 地区防災マップの使い方

❶ 地区内の危険をチェックしよう。（津波、洪水、土砂災害など）

❷ 自分の家をチェックしよう。

❸ いつも通っている場所をチェックしよう。（学校・職場・病院など）

❹ 近くの避難所をチェックしよう。

❺ 家やいつも通っている場所からの避難ルートを書いてみよう。

※付録の材料を使って家族でマップを完成させよう！